

一般質問通告書

(令和 8 年第 3 回定例会)

質問者	質 問 事 項 質 問 の 要 旨	答 弁 書	質問の 相 手
5 番 若杉 伸児 議員	1. 美郷町自主放送（きららびじょん）について 美郷町が製作・放送している「きららびじょん」は、地域のイベントや祭り・学校行事・健康づくり・防犯対策等さまざまな地域に密着した話題を提供し、町民の貴重な情報源となっている。反面、その放送内容については様々な意見も聞いている。 ① 今後、番組内容のより一層の品質向上を図るためにも、アンケート調査や番組モニターを募集する考えはないのか伺う。 ② 現在の限られた職員数で、取材・製作・編集・放映の全てをカバーするには限界があるのでは。新たに専門的な知識や技術を持った、地域おこし協力隊員等を採用する考えは無いのか伺う。 ③ 運営に関してはケーブルテレビ施設使用料・ケーブルテレビ貸付使用料等により約 1,800 万円の収入があるものの、実質年間約 4,100 万円の赤字となっている（令和 7 年度）。今後の運営方針について伺う。 2. 特別職非常勤職員等の報酬について 本町において特別職非常勤職員や、町と業務委託契約している区長には、一定額の報酬や費用弁償が定められているものがある。 ① 報酬額の決定方法や金額の改定手順を伺う。 ② それぞれの役職により職務の内容・出会日数・社会的責任等は様々であり、一概に報酬額を比較する事は難しいと考える。その中であって現在の金額の妥当性を伺う。	要 要 要 要 要 要	町長 町長 町長 町長 町長 町長

質問者	質問事項 質問の要旨	答弁書	質問の相手
5 番 若杉 伸児 議員	③ 役職によっては法律において、無報酬と定められているものがある。しかしながら、その存在は社会的に必要不可欠で、しかも成り手不足の問題も抱えている。町独自に支援・対処方法がないものか伺う。	要	町長
4 番 遠山 秀樹 議員	1. 美郷町有林における J-クレジット制度の活用とカーボンオフセット施策の方向性について ① J-クレジットの基礎となる美郷町の民有林、町有林、国有林を含む公有林の面積及び割合を伺う。(要資料) ※・民有林 34, 896 ha(87.0%) ・町有林 2,931 ha(7.3%) ・その他公有林 2,286 ha(5.7%) ・合計 40,113 ha(100 %) ② 町有林の適正伐期齢及び要間伐森林の面積について各地区ごとの現況を伺う。(要資料) ※・A 適正伐期齢森林 南郷 506 ha 西郷 525 ha 北郷 227 ha 合計 1,258 ha ・B 要間伐森林 南郷 133 ha 西郷 162 ha 北郷 171 ha 合計 466 ha ・A + B 森林合計 1,724 ha ③ 本町における町有林の J-クレジット創出に向けた現在の認識と、現在までに検討がされたのならば、経緯について、又、取り組むのに問題があって前に進まなかったのならば、その背景と理由を伺う。	要 要 要	町長 (森づくり課長) 町長 (森づくり課長) 町長 (森づくり課長)

質問者	質問事項 質問の要旨	答弁書	質問の相手
4 番 遠山 秀樹 議員	④ 本制度を単なる財源確保の手段にとどめず、本町の林業振興、更には流域全体のゼロカーボンシティへの推進の契機ととらえ、まずは次年度からでも県及び森林組合等と具体的なシュミレーション調査に再度着手すべきだと思えるが、町長の考えを伺う。 2. 役場業務における生成 AI の利用状況と、今後の導入方針について 昨今、ChatGPT をはじめとした生成 AI は急速に普及しており、民間企業のみならず多くの自治体でも業務効率化のために活用が始まっている。人口減少が続く美郷町においても、限られた職員数で質の高い行政サービスを維持するためには、AI の活用は有益であると考えます。 ① まずは、役場における生成 AI の利用状況と、今後の導入方針について伺う。 ② 段階的な導入を検討されていれば、具体的なスケジュール等のタイムテーブルがあるのか伺う。 ③ AI 利用に伴うリスクに対して、具体的にどのようなセキュリティ対策や運用ルールの整備を今後行っていくのか。また、利活用推進については総合政策課を中心に行い、ガバナンス、俗に言う「運用ルールの策定や監視」等は総務課が行う、といった役割分担の考え方について伺う。 ④ 庁内のガイドラインや、運用ルールの策定と同時に、全職員を対象とした研修を実施し、内容は、生成 AI の基本的な仕組みと、AI に出来ること・出来ないこと、また、リスクの理解、そして実際の業務での使い方の実習が必要だと思うが、この件についての考え方を伺う。 ⑤ 住民の大切な個人情報扱う行政機関としては、安	要 要 要 要 要	町長 町長 (総合政策課長) 町長 (総合政策課長) 町長 (総務課長) 町長 (総務課長) 町長

質問者	質問事項 質問の要旨	答弁書	質問の相手
4 番 遠山 秀樹 議員	全性と信頼性を最優先に、慎重かつ着実に取り組む姿勢が望まれると思うが、ここまでの質疑を踏まえ、本件に関する町の認識と、今後の取り組む姿勢について町長の考えを伺う。		
8 番 川村 嘉彦 議員	1. 森林環境譲与税について ① 本町における森林環境譲与税の交付額の経過を伺う。 ② 積立金について、バイオマス発電所を検討するということで積み立てを行ってきたと認識しているが、改めて積立金の使途と現在の積立金額を伺う。 ③ バイオマス発電所などの検討にあっては、協議会を立ち上げて議論されてきたと認識しているが、現状での協議会の活動状況を伺う。 ④ 森林環境譲与税の歳出の予算化にあっては、現状の事業費（補助金）とは別段で予算化されてきたと認識しているが、森林環境譲与税の予算編成に対する考え方を伺う。 ⑤ 作業道補修事業（美郷町作業道保全管理事業）の1日当たりの事業主負担額について、令和6年度までは3,500円であったものが、令和7年度から15,000円となっているが、増額となった根拠を伺う。	要 要 要 要 要	町長 町長 町長 町長 町長
2 番 日高 隆一 議員	1. 公共施設等の運営について 7月28日発生 of 令和8年熊本地震、令和8年8月千葉豪雨のような有事の際に公共施設を避難所として利用すると思われる。 ① 避難所として利用する公共施設について、地震や豪雨など、災害に応じた避難所の分類がされているのか伺	要	町長

質問者	質問事項 質問の要旨	答弁書	質問の 相手
2 番 日高 隆一 議員	う。 ② 近年、公共施設(夢であい館・北郷図書館等)の空調設備の故障が相次ぎ、その後の修繕に時間がかかったことで利用者から苦情を聞いている。修繕対応が遅くなっている原因を伺う。 ③ 今後の公共施設の管理について、定期的なメンテナンス(保守・点検・整備・手入れ)はできないのか伺う。 2.「商工会プレミアム商品券」について 本町では、「お買い物は地元の商店で！」をキャッチフレーズとして、平成19年度から「商工会プレミアム商品券」販売事業を実施している。 ① 「商工会プレミアム商品券」販売事業のこれまでの補助金総額を伺う。 ② 「商工会プレミアム商品券」販売事業の前年度の町内各地区（南郷・西郷・北郷）での利用実績を伺う。 ③ 「商工会プレミアム商品券」販売事業による商店存続を含め、その効果を伺う。 ④ 商工会の会員となっていないAコープは「商工会プレミアム商品券」が利用できない現状にある。町内ではAコープでの買い物頻度が高い傾向にあるため、「商工会プレミアム商品券」の使い勝手の悪さを耳にする。このような現状について、町長の見解を伺う。	要 要 要 要 要 要	町長 町長 町長 町長 町長 町長